

ユネスコスクール

さいたま市立新開小学校 2012年承認

～人にやさしく 自然にやさしく～



令和4年11月12日(土) 6年道徳「家族のきずな」(横田めぐみさんのご両親の思いを通して)

横田めぐみさんのご両親の思いを通して、家族のきずなについて気づき、自分の家族についても考えを深められるような授業を行いました。



授業では、めぐみさんと幼馴染の本校校長が、めぐみさんが幸せに暮らしていたこと、明るく優しいお姉さんだったこと、突然、拉致をされたこと、20年間も何もわからなかったこと、北朝鮮に拉致されていることがわかったこと、死亡と言われて遺骨を出されたこと、遺骨をDNA鑑定したら他人の骨だったことなどを話しました。子どもたちは、ご両親が特に辛かったことについて話し合いながらご両親の気持ちを考えました。そして、どうして45年間もあきらめないで続けられるのかについて話し合うと、「大切な子どもだから」「もう一度、会いたいから」と家族のきずなに迫りました。もし、自分の大切な家族がいなくなったらと考えることを通して、自分事として、家族のきずなについて気付くことができました。

授業の後半では、救う会埼玉代表の竹本様にゲストティーチャーとして、ボランティア活動を始めたきっかけや、活動の内容、拉致の可能性のある人が800人以上いることなどについてお話いただきました。

最後に、横田さんのご両親からのメッセージDVDを視聴し、「家の中で家族と一緒に生活するという事は当たり前なことなんですけど、本当はすごく幸せなことなんです。」という言葉をかみしめていました。

児童の手紙から (一部)

- ・ぼくは家族がいらないというのは、すごくさびしいと思いました。こんなことを思ったのは初めてです。この授業で45年間も思っていたのはすごいと思ったし、少しでもこの活動に参加したいと思いました。
- ・家族がとても大切だと分かりました。これからも家族を大切にして暮らしていきたいし、横田めぐみさんのため、拉致された人のために何かしてあげたいと思いました。
- ・だれだって、大切な人がいなくなったら、とても悲しいです。一緒に生活できることが、どれだけ大事なことか分かりました。これからも一日一日を大切にして、家族と生活していきたいです。
- ・私は、家族と一緒に過ごすことがどれだけ大切かが分かりました。また、親が見守ってくれていることも幸せだし、とてもうれしいことだと思いました。毎日毎日、大切に過ごしたいです。
- ・家族と一緒に暮らすのを当たり前だと思いましたが、今回の話を聞いて、もっと家族を大切にしたいと思いました。早く横田さんが見つかってほしいと心から思いました。
- ・めぐみさんのために45年間も心も折れないで、たたかっていてすごいと思いました。どうかめぐみさんとお母さんを会わせてほしいと思いました。
- ・家族がいつでも一緒にいられると思っていたけど、全部が全部当たり前のことではないこと、お父さん、お母さんが毎日いて「恵まれているんだ」と改めて思いました。
- ・何が起こるかわからないから、もっと家族との時間を楽しく幸せでいたい、あと、家族に感謝の気持ちをもちたいです。